



開流筭法草術卷之十一

開立方九因歌

一一一	二二八
三三二十七	四四六十四
五五百二十五	六六二百十六
七七三百四十三	八八五百十二
九九七百二十九	

新術

求初高

積とすと實と一の位より既り二位と積て  
上下して位とすと初高と幼い一位より既り  
と隔くたる又か重色系と又二位と隔く初高  
左からを算の首位起步て位と定じたり初高再  
自因と減して候初高殊實とれ

求二高

初高殊實と初高少くに移降と又其法ニ少く  
下降柄を再び初高してまた移降との高とせ  
け自因と減して候其法ニと因承入初高と因

求三高

一て二高再自因と減して候其法ニ高殊實と  
二高殊實と初二高和少くス移降と又其法ニ少く  
人移降を再び初二高和少く一移降とこの高とせ  
け自因と減して候り其法ニと因承入初二高和  
同志と二高再自因と減して候りと二高殊實と

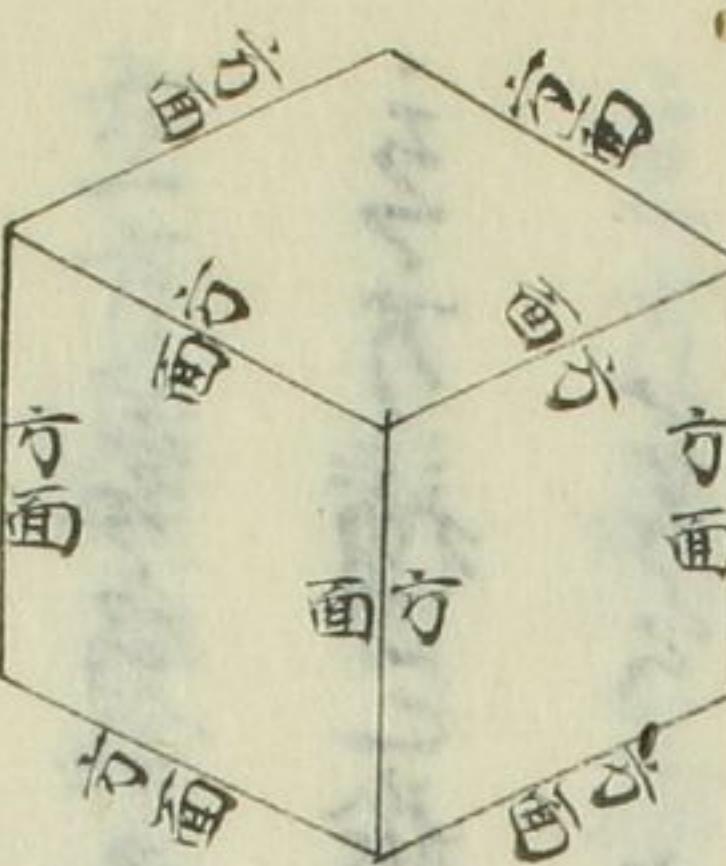
求四高

三高殊實と初二高和少く六移降と又其法ニ少  
て六移降を再び初二高和少く一移降て高とせ

は自周と減ちくほりかを法三と因し又初二ニ高  
れと周志ニ高再自周と減ちくほりと高殊矣

### 末五高

に高殊矣と初二ニ高れやく七折隊と之法三と  
て七折隊と再び初二ニ高れやく一折隊と入高と  
やけ自周と減ちくほりかを法三と因し又初二ニ高  
れと高再自周と減ちくほりと入高  
殊矣と入高再自周と六高以降と求る也常事  
トまことに筆記いかくおふ事



11. 五方積を万才六丈用武捨入坪有  
方面行ゆと高

言々

武捨入間

湖六積五方入六丈とすと高再自周と減  
考之く初高武捨入坪と約一坪け再自周八丈と減

て候七丈六尺と初高殊矣と入

初高の殊矣と初高小くに折隊と又之法

こかくに折隊く

再び切高と一折隊と二高入やう

二高自周武拾人間と減して候り

立法二と周

又初高と同して百武拾人間とひる

二高再累卑百武拾人間と減して高殺候も至る

初二高武拾人間と方面と後高

立方積拾八万八千八百七拾七坪有方面行役と同  
立法入拾三間

立方積二拾八万八千八百九坪有方面行役と同

立法六拾九間

立方積二拾八万七千九百拾七坪有方面行役と同  
立法七拾九間

立方積五拾八万三千六拾八坪有方面行役と同  
立法八拾八間

立方積八拾八万七千三百七拾八坪有方面行役と同  
立法九拾八間

立方積武拾八万七千九百七拾八坪有方面行役と同  
立法九拾八間

立方積武拾七千九百七拾八坪有方面行役と同  
立法九拾八間

立法六百八拾八間

御立横

武儀七千九百七拾武

万六千五百六十步

丈

位と考スミ初高アラと約しやけ再自周

武儀  
万六千五百六十步

万六千五百六十步と減スルて隊シテ六千三百七拾武万と初高殊実アラ

初高殊实と初高少アラと減スルて隊

又立法三少アラと減スルて隊

再ハ初高アラと一折隊シテ二高アラと減スルて隊

二高自周アラと減スルて隊

立法三と周

又初高アラと

人四武拾武万六千五百六十步と減スルて隊

二高再自周

人四武拾武万六千五百六十步

と減スルて隊シテ六千三百七拾武万と二高殊

實アラ

二高殊实と初二高和少アラと減スルて隊

立法三少アラと減スルて隊

又初二高和少アラと一折隊シテ二高アラと減スルて隊

二高自周アラと減スルて隊

立法三と周

又初二高和少アラと減スルて隊シテ六千五百六十步

と減スルて隊

二高再立卑

六拾武

と減スルて立法恰も五丈四初

二ニ高六百八禁間と方西と之食間

立方積支流子万武捨八方六百尺捨支岸有方面

竹縱之間  
立方積武捨八方六百尺捨支岸有方面

立高六百八捨支間

立方積武捨八方六百尺捨支岸有方面  
竹縱之間

立高六百武捨入間

立方積二倍九千八百六捨八方八千武萬八捨二件有方面

竹縱之間

立高七百二捨六間

立方積六倍七千九百捨八方千武三捨九件有方面

竹縱之間

立高八百七捨九間

立方積九倍六千八百入捨八方千八百。二件有方面  
竹縱之間

立高九百八捨七間

立方積八百二捨。倍入千六百九捨武万入千七百入

捨武件有方面竹縱之間

三高六百七拾八間

術六積子八百三拾。後八百九と互く實と之法の如  
く小伝と考一初高入よと約一也け再  
自圓子武百八十件と減一て後八百八拾。後八百九  
拾武件一と減一て後八百八拾。後八百九  
拾武件一と減一て後

初高の減實一

初高殊無と初高かくに折除く

又三高二十九くに折算く

再の初高とて一折算と二高

間

二高自圓子武百八十件と減一て後

三高二十九くに折算く

又初高と因して

七拾六添八百九拾  
武万八千七百八十件と減一

二高再自圓武添八百と減一て後

七拾六添八百九拾武  
八万件と減一て後

高殘實一

二高殘實と初二高かくに折除く

又三高二十九くに折算く

再の初二高和一一折算と二高

三高自圓子武九百八十件と減一て後

高殘實一

又初二高和七拾七千三百。万

八千七百入於武件。七千。

三高再自因二拾六万。七拾七千武。六拾六。

万。或。七百入於武件。七

三高嫁實七千。

三高嫁实七千。七千。六拾六。

又高嫁实七千。六拾六。

再初二三高和七千。六拾六。

四高自因六拾六。

又高嫁实七千。六拾六。

又初二三高和七千。六拾六。

又高再自因七千。六拾六。

三高再自因七千。六拾六。

八寸有方面行縱と而

三丈六千武万三於武寸

立方積七千。六於三於六千七百八於三方七千六百  
武於六寸有方面行縱と而

三丈六千八百九百。六寸

立方積七千三百。に係六千八百九於七万武千武百  
於六寸有方面行縱と而

三丈六千九百。六寸

立方積八百。方。以万ニ於三於六百武於八百一

武千八百七於六寸有方面行縱と而

三丈六千九万武千八百二於六寸

術云積八百。方。以万ニ於六百武於八万武于八百七於六寸  
の如く小徑て考。之て初高九と約し。ひよけ再  
自因七百武於と減して。以七於三方。以百ニ於三於三。以百ニ於  
九万陸寸と。初高九と約し。ひよけ再

初高殊實と。

初高殊實と初高九と。に折除く  
入三於二。以百ニ於に折除く

再の初高九と。一折溝。二高九と。と。也。

二高自周六百と減一を加

玄法ニと圖一

又初高と因一て武拾壹万四千。三拾三僕ニと減一を加一

二高再自周八百と減一て武拾壹万三千九百。三拾三僕ニと減一を加一

と二高殘實一と

二高殘實と初二高和一ス析除一

又玄法ニとス析除一

再ハ初二高和一ス析除一ニ高六百と加一

二高自周六百と減一を加一

又玄法ニとス析除一

二高殘實一と初二高和一ス析除一

又玄法ニとス析除一

二高再自周八百と減一て武拾壹万三千九百。三拾三僕ニと減一を加一

と二高殘實一と

二高殘實と初二高和一ス析除一

又玄法ニとス析除一

再ハ初二高和一ス析除一ニ高六百と加一

と高自周六百と減一を加一

玄法ニと圖一

又初二ニ高和とあるして 又武万九拾武万六千八百  
捨武万九拾武万七拾八寸と  
ニ高再自用 武万七と減して 又武万九拾武万六千八百。  
ニ高殊實とて

ニ高殊實と初二ニ高和から七拾疊と  
又高再から七拾疊と

再の初二ニ高和から一拾疊を又高すと  
又高自用 武拾八と減して 又武拾八

宣法こと圖

又初二ニ高和とあるして 又武拾八

又高再自用

武拾八

と減して實殺恰とて昇。初二

三に又高水 九万九千八百と方面とて合内

立方積捨七万六千。六捨に張ニ又七万八拾入方ニ又ニ

百七拾八寸有方面行徑とて

又高再自用 武万六千八百捨入寸

立方積又捨八万武五千八拾武法ニ又六百七拾二方に又

二万七拾八寸有方面行徑とて

又高再自用 武万六千八百捨入寸

立方積万九拾一万六千武五千八拾六法ニ又六百八拾八万。

六百。八寸有方西竹籠と同

三玄 二万七千八百八拾八寸

立方積九百二拾九万八千九万六拾。億八千八百武拾又

万八千八百七拾八寸有方西竹籠と同

三玄 九万七千九百八拾八寸

立方積九百七拾武万武千八百。億九千武万。七千

九千四百九拾六寸有方西竹籠と同

三玄 九万九千。六拾六寸

立方積。寸。七。千。零。武。毛。八。系。七。忽。不。微。有。方。西。竹。籠。同

方西竹籠と同

三玄 大厘八毛

立方積。寸。九。忽。七。微。大。纖。七。沙。六。塵。有

方西竹籠と同

三玄 大厘八毛

相應開立方新術

圓積。以。之。之。就。積。之。陣。之。得。授。用。立。方。陣。之。圓。法。

とて四の名役と申く名用法を以て新名  
役とす。

旧方面三寸高八寸方堡構有是小相應し  
て今積入万九千八百九拾八寸と以て方堡構小四  
新方面三寸行縱と云

言云 方面三拾三寸 高八拾八寸

術云旧方面三寸自系して九寸八寸と系  
して四積六寸と也以て新積八万九千八百九拾八寸と除く  
六三百三十丈四寸方陳八寸九拾八寸と也。用法と云

方面三寸小用法拾三寸とあして新方面三拾三寸八寸四  
寸八寸小用法拾三寸とあして新方面八寸八寸四

旧方面三寸高八寸方堡構有是小相應して今  
積七万三千七百九拾八寸と以て方堡構小四寸新方面  
三寸行縱と云

言云 方面三拾八寸 三寸拾八寸

旧方面三寸高八寸方堡構有是小相應  
して今積拾八寸と以て方堡構小四寸新方面  
三寸行縱と云

三丈 方面武寸 高ニ寸

是外量の口に寸九丈四方深武寸七方の内底ナム  
是合武又六尺量の口深各竹径と

三丈 ハ武寸に九丈も 深を寸二方も  
是外量の口に寸九丈深武寸七丈の相度ナム  
て八外量の口深各竹径と

三丈 ハ九寸八丈 深八寸に引

八外量の口九寸八丈深八寸に引の内底ナムして是  
合武又六尺量の口深各竹径と

三丈 ハ武寸に九丈も 直壁桶有乞小内底ト  
四長八寸平ニ寸ニ九寸も直壁桶有乞小内底ト  
て今積モハ拾寸と以テ直壁桶小底ノ新長平  
各竹径と

三丈 長拾寸 平六寸 三拾八寸

術云四長八寸四平ニ寸ニあして寸拾八寸と  
九寸とあして四積百二十拾ト以テ新積五百八  
寸とケト以テ四三方小底ノ武又四寸圓法と  
降ノハト以テ四三方小底ノ武又四寸圓法と

四長八寸小圓法ニと周して新長拾八寸  
四平

三小圓法ニとまして新長すとち  
寸九十九寸  
圓法式とまし新高拾八寸と得る

四長六寸平に寸するニ寸く直堡壠有乞小相度志  
今積走寸をうち式を入もと以て直堡壠小化  
新長平をり從と

言云 長走寸スチ 平走寸

高七十九寸

四長拾式寸平入寸するニ寸式う直堡壠有乞  
小相度志今積六拾に方八丈八寸と以て直堡壠  
と化す新長平高各均從と

言云 長百八拾寸 平七拾八寸

高八拾八寸

四長四拾寸平拾八寸する拾式寸直堡壠有乞  
小相度してけ積八倍小化時新長平すと行  
程と

言云 長八拾寸 平三拾六寸

高百。寸

四長武拾に寸平拾六寸する拾八寸直堡壠有  
乞小相度してけ積の八倍を小化とて新長

平高朱行道と云

長於武寸 平八寸 高九寸

四長於八寸平於武寸高七寸の走壁構有光小  
走道してけ積の二倍小化新長平るを行道と

四

長於武寸九寸六厘。ニ九矣

平於七寸二厘。ニ九九矣。

高。寸。九厘六七に矣

